

別紙

I 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	別子山地域バス運行事業	新居浜市	15,400,221	6,000,000	

(備考) 事業が2つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	地域活性化措置	別子山地域バス運行事業				
交付金事業者名		新居浜市				
交付金事業実施場所		新居浜市内				
交付金事業の概要		別子山地域と新居浜市街地との交流を活性化し、地域住民の利便性の向上、別子山地域の振興と福祉向上を図るため、定期バスを運行する。 別子山地域～新居浜市街地(46.5km)、3往復(6便)365日				
交付金事業に関する主要政策・施策と目標		【政策】 持続発展が可能な、活力ある産業活動の実現 【施策】 運輸交通体系の整備 【目標】 公共交通の拡充整備 【成果指標】 公共交通(バス・デマンドタクシー)の利用者数				
事業開始年度		平成31年度		事業終了年度		平成31年度
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び成果実績	定量的な成果目標	成果指標	単位	評価年度	平成31年度	
	公共交通(バス・デマンドタクシー)の利用者数440,000人/年	公共交通(バス・デマンドタクシー)の利用者数440,000人/年	成果実績	人	392,386	
			目標値	人	440,000	
			達成度	%	89.18%	
	評価年度の設定理由					
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。					
		交付金事業の定性的な成果及び評価				
		別子山地域バスは、別子山地域と新居浜市街地を結ぶ唯一の公共交通であり、別子山地域住民の利便性確保、福祉の向上及び市街地との一体性を図ることを目的として運行を行っております。平成30年度の乗車人数は6,401人となり、別子中学校生徒の通学形態の変更により地域バス利用回数が減少したため前年比(H29年度)△2,587人となりました。今後は、同バスの広報強化に努めるとともに観光情報と併せた情報発信を行うなど、利用客の増加を図ってまいります。				
		成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無				
		無				
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	28年度	29年度	30年度
	別子山地域バス運行便数 便数×運行日数		活動実績	便/年	2,920	2,920
			活動見込	便/年	2,920	2,920
			達成度	%	100%	100%
				100%	100%	100%
交付金事業の総事業費等		28年度	29年度	30年度	備考	
総事業費		16,076,641	16,387,500	15,400,221		
交付金充当額		6,122,000	6,000,000	6,000,000		
うち文部科学省分						
うち経済産業省分		6,122,000	6,000,000	6,000,000		
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
別子山地域バス運行(委託)		指名競争入札		有限会社 光タクシー		15,400,221
交付金事業の担当課室		経済部別子山支所				
交付金事業の評価課室		経済部運輸観光課				